大田市地産地消推進計画～市内循環による地域経済の活性化に向けて～（概要版）【H31.3 改定】

基　本　方　針

○少子高齢化・人口減少や、近隣市での超大型商業施設オープン、情報化の進展に伴う購入先の拡大等により、本市の購買力は減少・流出傾向にあり、地域の産業は厳しい状況に置かれている。

○このような中、「第２次大田市産業振興ビジョン」では、「外貨獲得と経済循環による産業振興」を基本理念とする中で、地産地消による地域内経済循環の推進を掲げている。また、「大田市中小企業・小規模企業振興条例」では、市の持続的発展を図るため、市内中小企業・小規模企業が提供するサービス等を積極的に活用するよう市民は努めるものとしている。

○このことを踏まえ、本市においては、**市内産品の購買はもとより、地元の店舗やサービス等を積極的に利用することを「地産地消」として捉える**中で、各団体と連携して「地産地消」を推進することにより、市内産業の活性化を図るものとする。

推　進　体　制

○地産地消に関する施策は幅広い分野に関係することから、関係団体等との密接な連携が必要とされる。

○このため、県、市、教育委員会、農業団体、水産業団体、商工業団体、事業者、生産者、小売店等各種関係機関が相互に連携を強める中で、消費者と一体となって地産地消の推進に努める。

基本施策及び具体的な取り組み

１．地産地消の普及啓発

【目　標】
地産地消や地場産品等に対する市民（消費者）の意識向上

【行動計画】
市が推進する地産地消の意味や意義等の情報発信、「大田市地産地消の日」におけるＰＲ、地産地消に係るイベントの開催、地場産品ＰＲチラシ等の作成等

２．地場産品等の市内外における消費の拡大

【目　標】
市民（消費者）が求める地場産農産物の生産、地場産品購買のための仕組みづくり、観光客等へのＰＲ、地場産品を使った新商品等の開発・販売促進、商店等の魅力向上、地場産品等の需要喚起

【行動計画】
安全・安心・高品質な農林水産物等の提供、直売所等のＰＲ及び販売促進イベントの開催、道の駅でのＰＲ、市内産原材料を使った大田のブランドづくりの推進、「地産地消推奨店制度」の活用、「地元買物運動」の展開、地場産品等提供事業者をまとめたチラシ等の作成等

３．食育や地場産業教育の推進

【目　標】
望ましい食習慣や地場産業・地場産品に対する知識の習得、生産者と市民（消費者）の相互理解の促進、学校給食や産業体験を通じた地場産業への理解促進

【行動計画】
地場産品を活用したレシピや生産過程を表したチラシ等の作成、産業体験の場の提供、生産者と市民（消費者）の交流機会創出、学校給食における市産食材の使用率向上、地場産業教育の推進等

成果指標の設定

地産地消を「強く意識して」買い物をする市民の割合

【現在値】
３０．７％（2018.10 現在）

⇩

【目標値】
４６．７％（2026 年度）

学校給食における大田市産食材の使用割合

【現在値】
５０．０％（2017 年度）

⇩

【目標値】
５９．０％（2026 年度）

計画期間	平成３１年度（２０１９年度）から２０２６年度（８年間）	進行管理	大田市地産地消推進協議会において、毎年度、計画の進行管理及び評価を実施